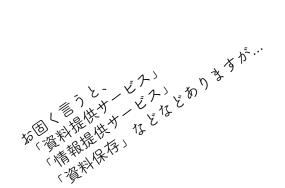
益田市立図書館

~ 市民との協働による新たな図書館のカタチ ~



島根県益田市教育委員会 協働のひとづくり推進課 唐突ですが...

「図書館ってどんなとこ?」



ひとことで言うと

「本を借りるとこ」

「本を読むとこ」

…といったところでしょうか。

「子供と遊ぶとこ」

「なんとなく行くとこ」

「本を借りるとこ」

「本を読むとこ」

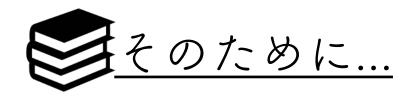
「待ち合わせ場所」

「くつろぐとこ」

「友達と遊ぶとこ」

etc...

で、あって欲しいと思っています。



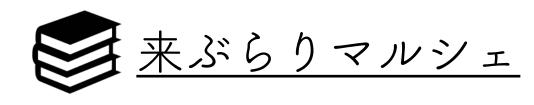
「毎月、<mark>来ぶらりマルシェ</mark>の開催」

「『さいぶらり』をキャッチフレーズとした取り組み」

「市民との協働、花いっぱいプロジェクト」

などを行なっています。

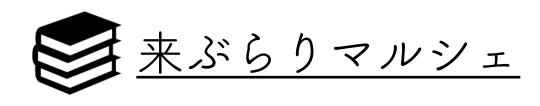
(次ページから紹介)



図書館の利活用の促進と、市民団体に活動の場の提供し、市民団体の横のつながりを作りながら、図書館を核とした交流の場を構築するという目的で、平成28年より実施。

団体同士の繋がりなどから今では毎月平均15店舗程度の出店があります。





マルシェ当日は、図書館内で「図書館クイズ」を行い、来場者を楽しませています。



コロナ禍の間、大きな催し物が延期や中止となっている中、 様々な対策を取りながら開催してきており、来場者もこの一年 は特に多いです。



毎日ふらり

My ライブラリ



の二つを掛けたキャッチフレーズで、 これまでの間に集めていた「利用者アンケート」から ゼロ予算で出来ることを、 ひとつひとつ進めてきました。

> 館内にも周知のポスターを設置。 次ページにて紹介します。

「まいぶらり」へ。

益田市立図書館は、様々なイベントや企画を通じて、 その使い方の幅を広げていく取り組みをしています。

"毎日フラりと立ち寄りたくなる"



"わたしの図書館に"

市民の手で変えていこうという願いを込めた 「まいぶらり」というプロジェクトです。 皆さんのアイデアを一緒に実現しましょう。

益田市立図書館





館内BGMの開始

この取り組みの前、館内BGMはありませんでした。

しかし、お子様連れの親御さんからの声で「静かすぎて使いづらい」という声が多くあり、 BGMを始めることとしました。BGMをスタートすると「心地よいです」などの意見をい ただくことが出来ました。

飲料OK

これまで飲食禁止としておりましたが、こちらも「飲み物は許可して欲しい」という声が多くありました。本の管理上禁止としていましたが、蓋付きの飲み物であれば許可することとしました。





視聴覚室の開放

益田市立図書館には視聴覚室があり、これまでは講演や会議などの利用の際に開放しておりましたが、学生などから「テスト期間中などに空いている席がない。」という声から、予約が入っていない時間については常に開放することとしました。テスト期間中には多くの学生の利用があり、開放してよかったと思います。

机の配置変更

中庭がある図書館ですが、中庭を見ながら読書をしたいという声から、新たに窓際に机を 設置しました。今では館内で一番人気のある空間となっています(笑)





児童コーナーの照明DIY

児童コーナーが暗いという声から、せっかくならオシャレに変えよう!ということで参加 者を募り、市民の手により照明を作りました。とても暖かい光が入るようになりました。

本のガチャガチャ

「どうやって絵本を選んでいいか分からない。」この声も多かったです。今月のおすすめ等や面出し等は行っておりますが、ガチャガチャを使って本を紹介することをチャレンジしました。「何が出るか分からない」そんなドキドキがあったのか、好評でした。





本の福袋

コロナの拡大が市内ピークの時、来館時間を制限していました。 時間短縮により、絵本を選ぶ時間が足りないことを予測し、 持ち帰れる「ちいさな図書館」として福袋による貸し出しを 行いました。

限定100セットではありましたが、全セット貸出することができ、有意義な<u>「おうち時間」</u>の手助けになったかと思います。



本の面出し棚の作成

おすすめコーナーなどを設置しておりますが、スペースに限りがあり面出し出来る冊数も限りがありました。そこで市内の大工さんに相談し書棚に増設する形で面出し棚を作成していただきました。新たなおすすめコーナーを作ることが出来たのはもちろん、大工さんとの関わりが生まれ、今ではマルシェにも出店していただいています。





などなど、アンケートから出来ることは積極的に改善していきました。 小さいことでも取り組んでみると、大きな反響があり、

「まず、やってみる。」ことの大切さ

を感じました。

そして、取り組みの際には市民の意見を取り入れたり市民と一緒に活動したりなどすることで市民自らが「図書館に関わる」というポイントもこの取組の狙いのひとつです。

令和2年4月のとある日、

良いアイデアがあるんじゃけど。

市内で活動する子育て世代団体の代表の方が訪れました。



図書館の前庭の草木が枯れとるけぇ、 綺麗にしようやぁ

花壇が7つあるから7つの保育園の園児に花を植えてもらうのはどう?

<u>この頃は、すでにコロナ禍。</u> 身動きが取れなくなっていた益田市としては、 目の覚めるような提案でした。



市としても、もちろん承諾。

是非、一緒にやりましょう!

じゃあ、早速5月から!

市がやるべきこと、団体がやること などを話し合いました。



チラシ出来たよ~。

早速出来たチラシ。団体自ら保育園を周り、7つの園の協力を得ることが出来ました。

そして迎えた当日、





土を触り 花を植える。

園児たちは 目を輝かせながら 植えていました。

そして、先生も なんだか嬉しそう。

> 近所のご婦人も数名 お手伝いに 来てくれました。





せっかく図書館に 来たんだから、 読み聞かせも。

(園児)

図書館の人が読むとなんだか楽しいなぁ。





みんなで植えた花壇は こんなに綺麗に なりました。





この取り組みは「<mark>花いっぱいプロジェクト</mark>」と名付けられ、 進めることとなりました。





子供たち 保育者 図書館 行政 近所のご婦人

など多くの関わりが 生まれ、それぞれに メリットが。





「図書館をもっと身近に感じて欲しい。」

そんな想いもあった取り組みです。

想いが伝わったのか、何人もの子どもが水やりに

来てくれました。











そして、園児との取り組みだけで留まらず 毎月行っている「来ぶらりマルシェ」ともコラボして マルシェ同日に大きな花壇の花植えを行いました。





Befor

多くの方が集まり、 入れ替わりながら 総勢100人の協力のもと 花壇が綺麗に。

参加者の中には、以前花を植えてくれた 園児たちの姿も。







続けて、子育て世代団体の代表は

中庭も綺麗にして、みんなが くつろげる空間にしよう!

と、提案してくれました。

というのも図書館の中庭は次のような状態...







松の木は枯れ 草は切っても切っても生えてくる。 このような中庭に対しての提案でした。 具体的には、



こういった計画でした。





今回も、もちろん承諾。

是非、一緒にやりましょう!

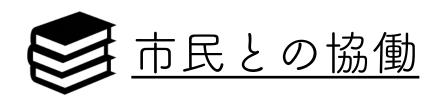
じゃあ、すぐやろう!

行政の事業でよくあるのが、ここで丸投げをする。 それでは、どうしてもやらされ感が出てしまう...

行政が得意なことは行政が、市民が得意なところは市民が。

丸抱え、丸投げにならない!

こういった協働が大切であると前回の取組で学んでいました。



同年、9月 「花いっぱいプロジェクト その2」 としてスタート。

まずはこのチラシを使って、 アイデアを募集しました。

集計の結果、

「くつろいで本が読める場所」 を目指すこととしました。





イメージを益田市出身の建築士に伝え

「くつろげるウッドデッキ」

を作ることとなりました。

もちろん、ただ作るだけでなく、 中高生と作りあげました。





大工さんに教わりながらの ウッドデッキ造り。

今回の「花いっぱいプロジェクト」も 多種多様な方々との関わりが 生まれました。

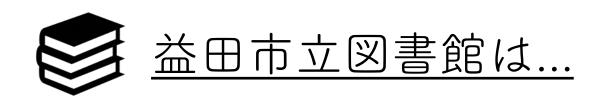




そして、完成。



こうして、



市民との協働によって

「子供と遊ぶとこ」

「なんとなく行くとこ」

「本を借りるとこ」

「本を読むとこ」

「待ち合わせ場所」

「くつろぐとこ」

「友達と遊ぶとこ」

etc...

のような空間となるよう取り組んでいます。

「本を借りるとこ」 図書館 = 「本を読むとこ」

では、限界が来てませんか?

図書館は社会教育施設です。

様々な取組により図書館のファンを増やし、

これまで「自分たちの場所ではない」と思っていた

潜在的な利用者が集うような場所を目指し

誰もが気軽に訪れることができ、

結果的に本との関わりも増える。

これが

~ 新たな図書館のカタチ ~

と考えています。



ありがとうございました。

島根県益田市教育委員会 協働のひとづくり推進課